

平成 29 年度

学生によるオレンジリボン運動

熊本保健科学大学 実施報告書



実施主体 助産別科

実施内容 平成 29 年 10 月 21 日

大学祭での啓発活動

①事前に取り組んだ内容

学生間でオレンジリボン運動の意味や実際の活動、児童虐待の現状について学び、今後自分たちでできることはないか、どのように取り組んだらいいかについて話し合った。また、ポスター・オレンジリボンを作成し、当日の展示に備えたり、オレンジリボン運動に参加しやすいように準備を行った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

学園祭において、オレンジリボン運動に関するポスターを作成し、教室内に展示した。また、学園祭に参加している学生や一般の方にオレンジリボンを配布することで、オレンジリボン運動の普及に努めた。同時にアロマクラフトを行い、作成時にオレンジリボン運動についての話も交えた。ラッピングにはオレンジリボンをつけることで、運動を知らなかった方にも興味を持ってもらえるように工夫して行った。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

雨であったため、例年よりも多くの人に普及することはできなかったかもしれないが、学生同士で改めて児童虐待やオレンジリボン運動について考えるよい機会となったと考える。

同大学は医療系の学部で構成されているため、オレンジリボン運動については知っている学生が多かった。その学生が家族や友人などに広めることで、さらに運動が普及していけばよいと考える。

今回、児童虐待やオレンジリボン運動の学びを通して、将来自分たちが親として、専門職として、子供たちに対してどのように関わっていくべきかを考えることができた。今後も学びを深め、運動が続いていくように、後輩たちに伝えていきたいと考える。

